海道南部ニハひのきあすなろダケ產スル樣ニ記述シテ居ラレル。筆者ガ秋田縣北秋田郡大葛村ニ採集セルモノハ、毬果ハ日本有用樹木分類學及ビ日本植物總覽ノひのきあすなろノ記相文ニ符合シ、牧野富太郎博士ニ鑑定ヲ御願ヒ申シ上ゲタトコロひのきあすなろデアツタ。

栃木師範ノ關本平八氏ニ御依賴シテあすなろノ正品ヲ得テ、兩者ヲ比較シテ見タトコロ毬果ハ恰モ別種ノ如キ感アリ、或人ハ獨立種ト考ヘタノモ無理モナイ樣ニ思ハレタ。兩者ノ毬果ノ圖ハ吾々採集家ニハ一寸見當ラナイカラ、茲ニ出シテ頂クコトトスル。圖ノあすなろ (A. a.) ハ、關本氏ガ昭和11年6月16日栃木縣芳賀郡小貝村ニテ採集セルモノニ依リ、ひのきあすなろ (B. b) ハ、筆者ガ昭和9年6月24日ニ秋田縣北秋田郡大葛村ニテ得タルモノニ依ル。

最後ニ御教示ヲ賜ハリマシタ牧野博士、あすなろノ標本ヲ送ラレタル關本氏ニ厚ク御禮ヲ申上ゲル。 (松田孫治)

○ぎんりやうさうトこぎんりやうさうノ發生ノ時期

ぎんりやうさう (*Monotropa uniflora* L.) トこぎんりやうさう (*M. Morisoniana* MICHX.) トハ、前者ハ 5 花瓣デ後者ハ 3 花瓣デアル點ヨリシテ容易ニ區別サレルガ、又發生ノ時期ヲ比較シテ見ルニ、こぎんりやうさうハ初夏 (6月頃) ニ發生シテ 8月頃ニハ既ニ果實ヲ上ニ向ケテキルガ、ぎんりやうさうノ方ハ 8 月中旬頃ニ發生スル樣デアル。然リトスレバコノ點ヨリシテモ兩者ヲ區別スルコトガ可能デアル。 (松田孫治)

○いはたけ科地衣ノ分類體系

世人ニハアマリ緣ノ無イ地衣類ノ中デモいはたけノ類ハ比較的ニ有名デ、植物採集家デナクトモ、高山ニ登ツテ岩壁ニ着生シテキルアノ眞黑ナ奇妙ナ地衣ヲ見タ人ハ、コレガいはたけト云フ食用ニナル珍物デアルカト深ク印象ヅケラレタコトト思フ。サテコノいはたけノ種類ハドウセ大シタコトハナイダラウト思フト大變ナ間違ヒデ、既ニ數十種類モ記載サレテキテ、ソノ分類ノ樣式モ色々ト問題ニナツテキル。最近 E. FREY ト P. F. SCHOLANDER トガ相前後シテ從來ノいはたけ科地衣ノ分類體系ヲ全ク變ヘテ了ツタ。コノ兩者ノ說ハ全ク出發點ヲ異ニシ、從ツテ結論モ全ク類似性ノナイモノデアル。筆者ハ日本產ノいはたけ科地衣ヲ記述スル際ニコノ兩者ノ何レヲトルカ、或ハ從來ノ體系ニ從フカ、又ハ獨自ノ新シイ體系ニヨルカ、何レニシテモ態度ヲハツキリ決定シナケレバナラナクナツタノデ、少シク先人ノ業績ヲ檢討シテ見タトコロ、ドウモソノ何レニモ贊成シカネルノデ、從來ノ體系ニ多少手ヲ入レテ一ツノ新シイ體系ヲ編出シタ次第デアル。

此處デハ先ヅ前人ノ業績ヲ批判シ、次ニ新體系ヲ披露スルコトニシタイ。

1. Acharius ノ分類法

地衣命名學ノ開祖 ACHARIUS ノ最初ノ體系[1]ニ依ルト、「體ハ葉狀デ堅ク軟骨樣、裏面ノ

1) ACHARIUS, ER.: Försock till en förbättrada Lafvarnes indelning (Dianoe Lichenum), in Nov. Act. Reg. Acad. Sci. Suec. Holmiae XV, p. 244(1794).